

令和6年度下半期 福生病院企業団病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和6年度下半期の業務状況は、入院患者数が57,907人(前年度比4.3%減)で、外来患者数が124,172人(前年度比11.0%減)となりました。
 収益的収入の主な収入である医業収益の決算額は5,396,225千円(前年度比6.7%減)、医業外収益の決算額は1,208,217千円(前年度比22.4%減)となり、収益的収入の予定額に対する執行率は98.4%でした。また、収益的支出の主な支出として、医業費用の決算額は8,328,234千円(前年度比2.3%減)となり、収益的支出の予定額に対する執行率は98.1%でした。
 資本的収入の主な収入として、企業債の決算額は459,000千円(前年度比82.9%増)、他会計補助金の決算額は174,145千円(前年度比2.0%増)、他会計負担金の決算額は183,024千円(前年度比2.0%増)となり、資本的収入の予定額に対する執行率は97.1%でした。また、資本的支出の主な支出として、建設改良費の決算額は470,680千円(前年度比73.1%増)、企業債償還金の決算額は916,997千円(前年度比38.9%増)となり、資本的支出の予定額に対する執行率は98.2%でした。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	予定額	決算額	執行率	区分	予定額	決算額	執行率
医業収益	5,497,829	5,396,225	98.2%	企業団管理費	32,382	30,790	95.1%
入院収益	3,400,705	3,442,387	101.2%	給与費 他	32,382	30,790	95.1%
外来収益	1,880,334	1,790,684	95.2%	医業費用	8,469,776	8,328,234	98.3%
その他医業収益	216,790	163,154	75.3%	給与費	4,580,254	4,465,915	97.5%
医業外収益	1,214,755	1,208,217	99.5%	材料費	1,421,149	1,437,720	101.2%
受取利息及び配当金	107	1,414	1321.5%	経費	1,799,753	1,771,260	98.4%
他会計補助金	81,376	81,376	100.0%	減価償却費	609,450	608,961	99.9%
国庫補助金	2,851	2,019	70.8%	資産減耗費	30,968	25,706	83.0%
都補助金	377,038	382,317	101.4%	研究研修費	28,202	18,672	66.2%
他会計負担金	526,116	526,116	100.0%	医業外費用	253,797	231,316	91.1%
長期前受金戻入	166,509	160,625	96.5%	支払利息 他	253,797	231,316	91.1%
その他医業外収益	60,758	54,350	89.5%	特別損失	3	0	0.0%
特別利益	912	4,328	474.6%	過年度損益修正損 他	3	0	0.0%
過年度損益修正益 他	912	4,328	474.6%	予備費	1	0	0.0%
				予備費	1	0	0.0%
合計	6,713,496	6,608,770	98.4%	合計	8,755,959	8,590,340	98.1%

(2) 資本的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	予定額	決算額	執行率	区分	予定額	決算額	執行率
企業債	485,000	459,000	94.6%	建設改良費	495,109	470,680	95.1%
企業債	485,000	459,000	94.6%	建設改良費	0	0	—
他会計補助金	174,145	174,145	100.0%	医療機器等購入費	495,109	470,680	95.1%
他会計補助金	174,145	174,145	100.0%	企業債償還金	917,004	916,997	100.0%
都補助金	53,338	53,338	100.0%	企業債償還金	917,004	916,997	100.0%
都補助金	53,338	53,338	100.0%	その他投資	717	133	18.5%
他会計負担金	183,024	183,024	100.0%	その他投資	717	133	18.5%
他会計負担金	183,024	183,024	100.0%				
固定資産売却収入	1	0	0.0%				
固定資産売却収入	1	0	0.0%				
その他投資返還金	202	258	127.7%				
その他投資返還金	202	258	127.7%				
合計	895,710	869,765	97.1%	合計	1,412,830	1,387,810	98.2%

令和7年度 福生病院企業団病院事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	令和7年度	令和6年度	比較	区分	令和7年度	令和6年度	比較
医業収益	6,650,839	7,128,530	△ 477,691	企業団管理費	31,512	32,313	△ 801
入院収益	4,367,736	4,681,490	△ 313,754	給与費 他	31,512	32,313	△ 801
外来収益	2,079,022	2,223,450	△ 144,428	医業費用	8,612,402	8,059,970	552,432
その他医業収益	204,081	223,590	△ 19,509	給与費	4,734,509	4,580,254	154,255
医業外収益	1,284,022	1,214,755	69,267	材料費	1,397,905	1,288,765	109,140
受取利息及び配当金	373	107	266	経費	1,827,773	1,560,370	267,403
他会計補助金	77,992	81,376	△ 3,384	減価償却費	577,814	571,411	6,403
国庫補助金	2,143	2,851	△ 708	資産減耗費	43,315	30,968	12,347
都補助金	380,508	377,038	3,470	研究研修費	31,086	28,202	2,884
他会計負担金	649,487	526,116	123,371	医業外費用	284,562	251,910	32,652
長期前受金戻入	122,713	166,509	△ 43,796	支払利息 他	284,562	251,910	32,652
その他医業外収益	50,806	60,758	△ 9,952	特別損失	4	3	1
特別利益	3	912	△ 909	過年度損益修正損 他	4	3	1
過年度損益修正益 他	3	912	△ 909	予備費	1	1	0
			0	予備費	1	1	0
合計	7,934,864	8,344,197	△ 409,333	合計	8,928,481	8,344,197	584,284

(2) 資本的収支の状況

単位:千円

収入				支出			
区分	令和7年度	令和6年度	比較	区分	令和7年度	令和6年度	比較
企業債	879,000	485,000	394,000	建設改良費	879,587	485,000	394,587
企業債	879,000	485,000	394,000	建設改良費	383,570	0	383,570
他会計補助金	177,711	174,145	3,566	医療機器等購入費	496,017	485,000	11,017
他会計補助金	177,711	174,145	3,566	企業債償還金	899,570	917,004	△ 17,434
都補助金	54,458	53,338	1,120	企業債償還金	899,570	917,004	△ 17,434
都補助金	54,458	53,338	1,120	その他投資	589	717	△ 128
他会計負担金	186,705	183,024	3,681	その他投資	589	717	△ 128
他会計負担金	186,705	183,024	3,681				0
固定資産売却収入	1	1	0				0
固定資産売却収入	1	1	0				0
その他投資返還金	144	202	△ 58				0
その他投資返還金	144	202	△ 58				0
合計	1,298,019	895,710	402,309	合計	1,779,746	1,402,721	377,025

2 事業の経営方針

当院は、地域のニーズに応え、生まれてからお亡くなりになるまでを安全・安心な医療によってサポートし、“地域医療と生活を支える面倒見の良い病院”として自立した病院経営を目指します。院内での多職種連携をさらに深め、タスクシェア・タスクシフトにより、仕事量の適正化を図り、院外では他の医療機関とのさらなる病病・病診連携を構築し、この西多摩地域の医療を支えていきたいと思ひます。また、小・中学校のがん教育や職場体験など地域住民の方への健康増進に寄与する活動にも力を入れていきます。

令和7年度の業務の予定量は、(1)病床数271床、(2)年間延患者数(入院70,080人・外来146,410人)、(3)一日平均患者数(入院192人・外来605人)、(4)主な建設改良事業(建設改良費383,570千円・医療機器等購入費496,017千円)です。

大変厳しい経営状況ではありますが、職員全体ならびに個々のできることに真摯に向き合い、最善最良の努力を惜しまず、地域住民のため適切な医療を提供していきます。